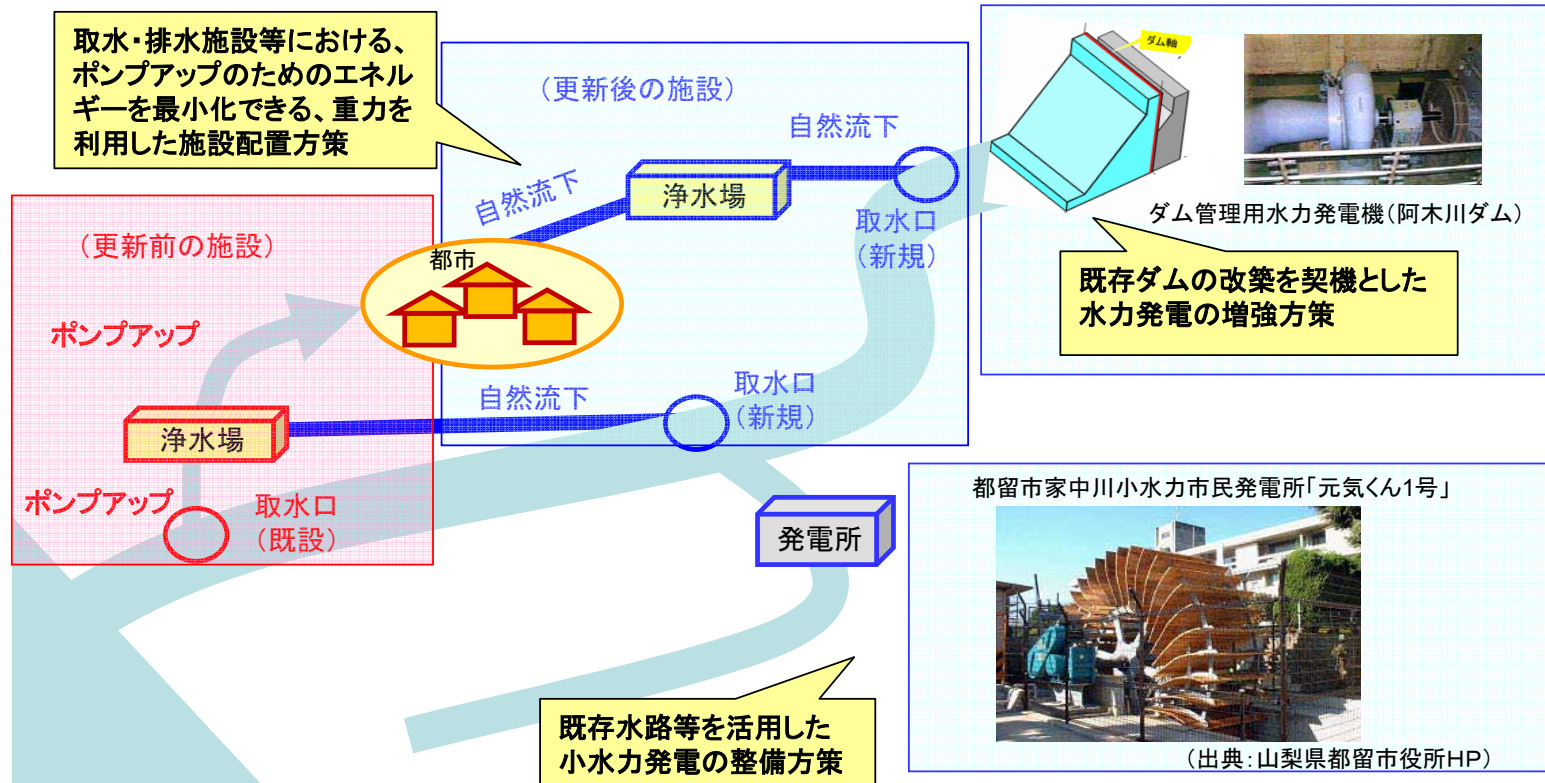


## ⑤ 水資源の持つ自然エネルギーの有効活用

既存水資源施設等を活用した小水力発電の活用の推進

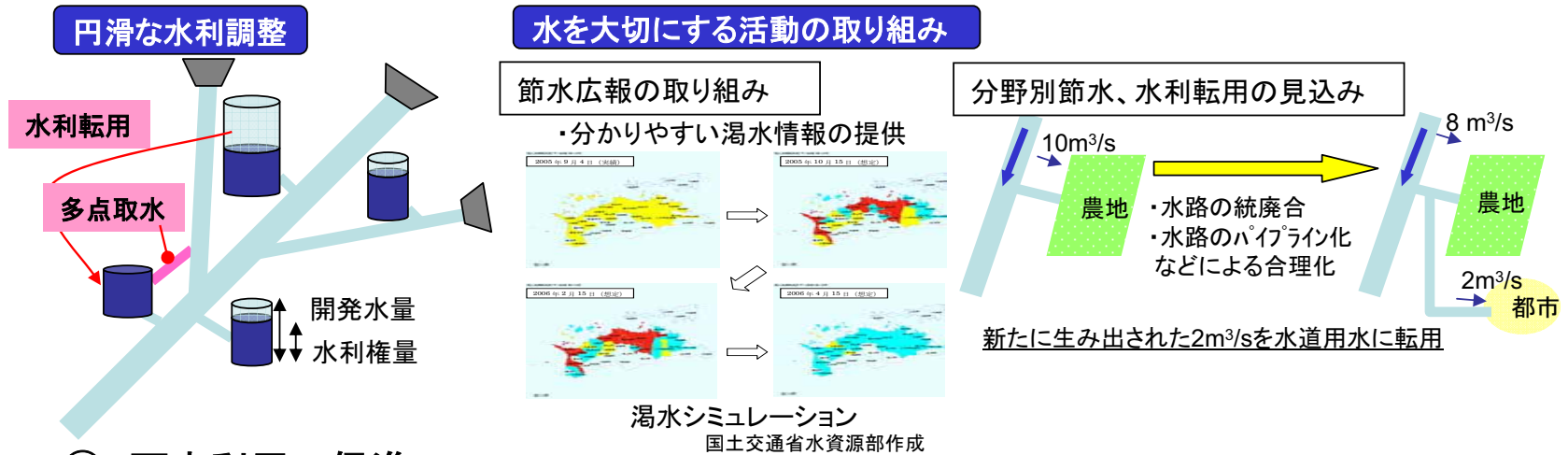
施設の更新時等に、重力エネルギーを活用できる施設配置とするなどの省エネルギー化対策を推進



## (2) 水利用の円滑化・効率化

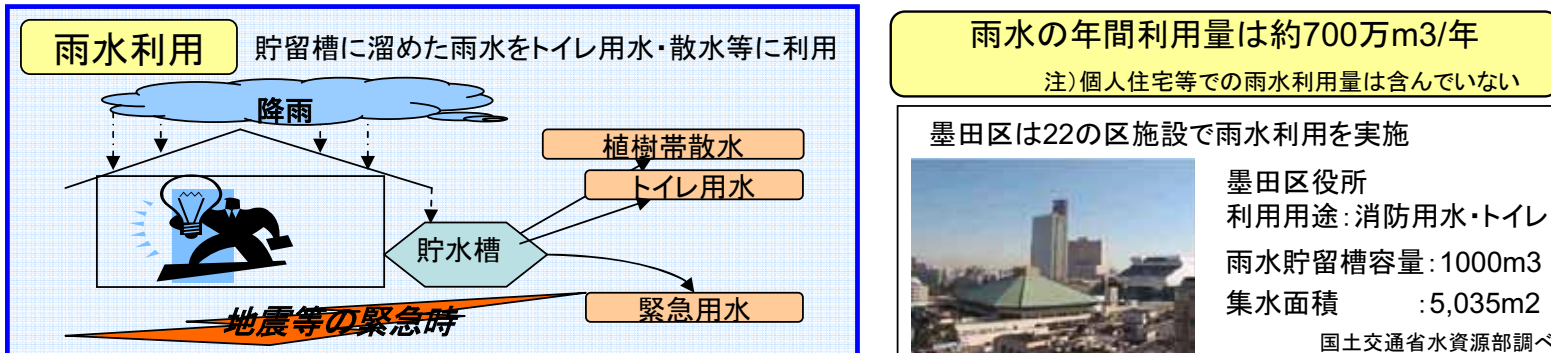
### ① 水利用の調整

漏水率の低減などの利水者における効率的な水管理や、用途間の水利転用など  
 水利用実態の変化に応じた水利調整によって、限りある水資源を低コスト、低エネルギーでより一層合理的に活用  
 流域全体の関係者によって水を大切にすることを意識が共有され、具体的な水利用行動に反映されることが必要



### ② 雨水利用の促進

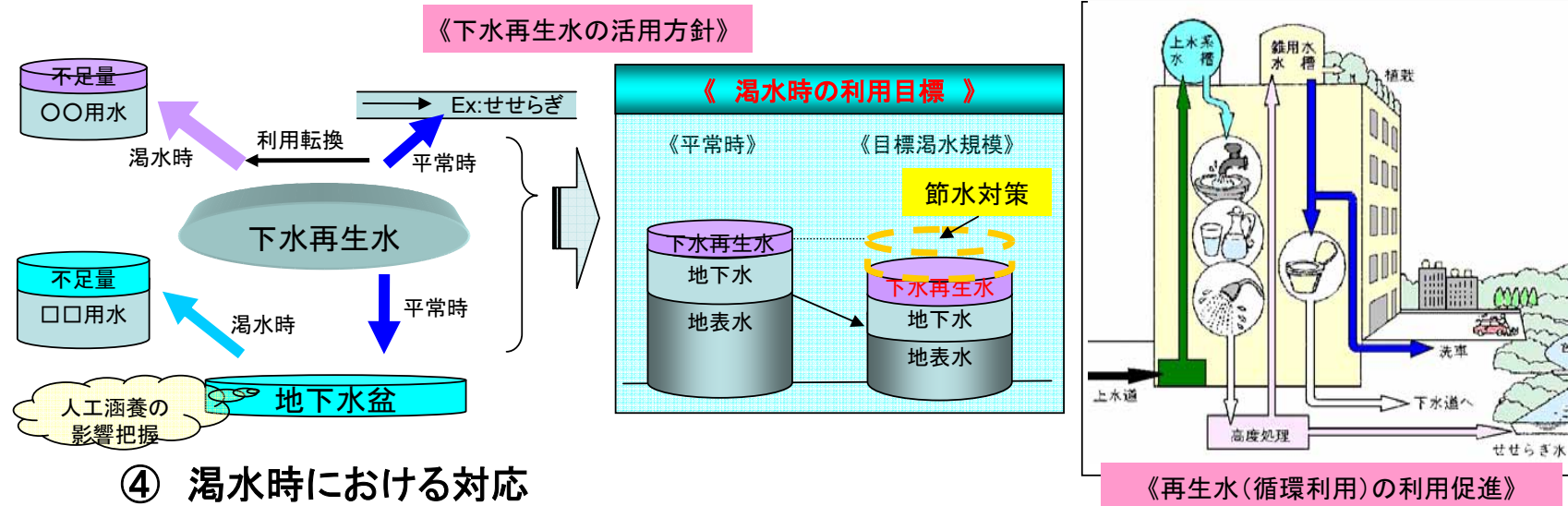
雨水の貯留・浸透及び利用は、雨水の流出を抑制し、都市水害の緩和に寄与  
 雨水利用は、渇水時には限界があるが、平常時には地表水・地下水への依存を軽減し、水源の温存、利水安全度の向上に寄与



### ③ 再生水の利用の促進

再生水の利用は、平常時には地表水・地下水への依存を軽減し、水源の温存、利水安全度の向上に寄与

再生水の利用については、平常時、渇水時、及び地震等緊急時の水資源として、その特性に応じた利用の推進を図ることを目標



### ④ 渇水時における対応

経験や実績、自然・社会状況の変化を踏まえた渇水調整の基本的な考え方と、渇水時における利水者、流域住民・企業等による緊急対応を計画

